

2018.3.5

◎臨時レポート「プラチノンについて」開催しました

奥住義則

今年最初になる文化史研究会のハンドリングゼミが行われました。

その前に「プラチノン～由来と広がり、その他合金について～」と題した臨時レポートを会員の大崎典子さんが発表しました。

最初の記録から、1922年に世にはじめイギリスから植民地であったオーストラリアなどに広がっていった経緯を当時のカタログや新聞記事を使って説明していただきました。

同時期に日本でもプラチノンの製品が多く出回るようになり、一世を風靡した様子などが分かりました。

その他にも様々なプラチナの代替金属が開発され、当時のハイテク素材に沸くようすが伝わってきました。

最後は実際にご自身で集められたプラチノン製のリングや時計、コートチェーンなど約10点ほど見せていただきました。

あまり多く知られていなかったプラチノンについての話に皆さん興味深く聞いていました。

臨時レポート 風景

<http://www.j-bunka.jp/infomation/20180303.jpg>

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>